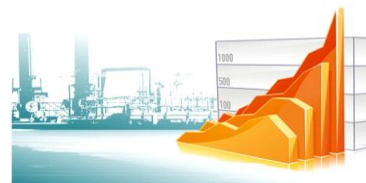


ぎふ経済レポート



令和3年5月分
岐阜県商工労働部

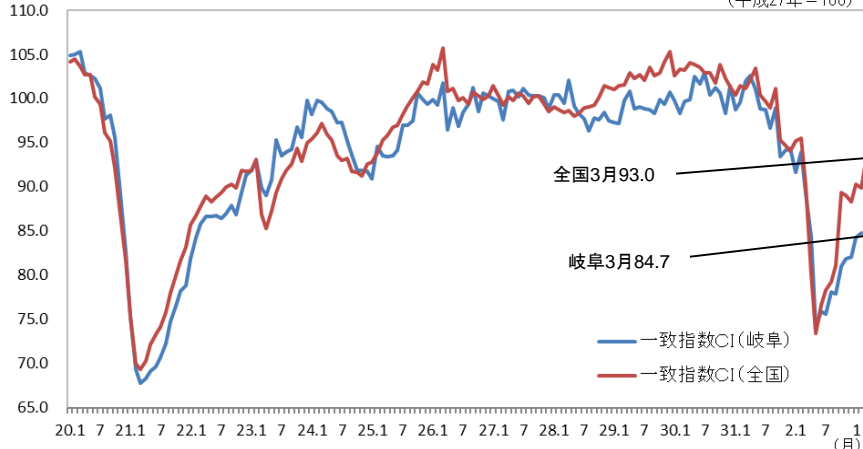
※企業等へのヒアリングは 5月25日～27日を中心に実施し、6月11日時点で作成。

景気動向

- 3月の景気動向指数(一致指数)は、84.7で前月比▲0.1ポイント低下した。
- 4月の県内中小企業の景況感は、▲35で前月比18ポイント上昇した。

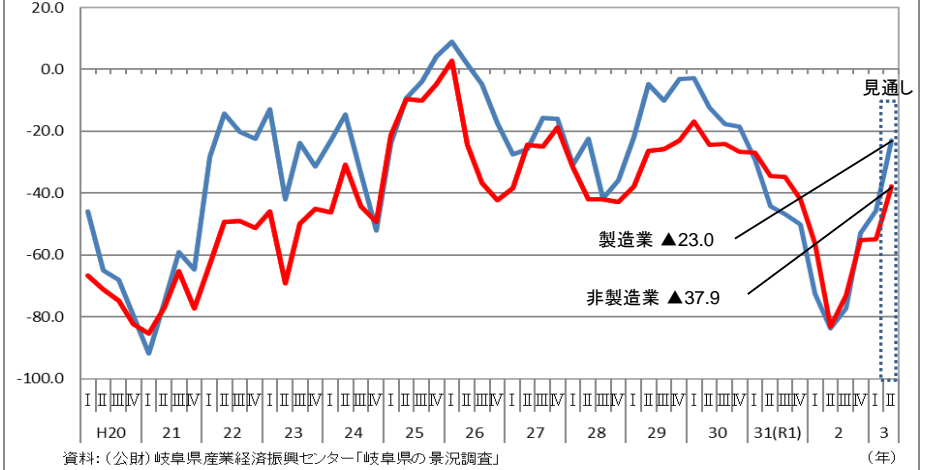
- 4-6月期の景況DI見通しは、製造業で22.5ポイント、非製造業で17.0ポイント上昇した。
- 同売上高DI見通しは、製造業で23.4ポイント、非製造業で16.5ポイント上昇した。

岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



資料: 県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



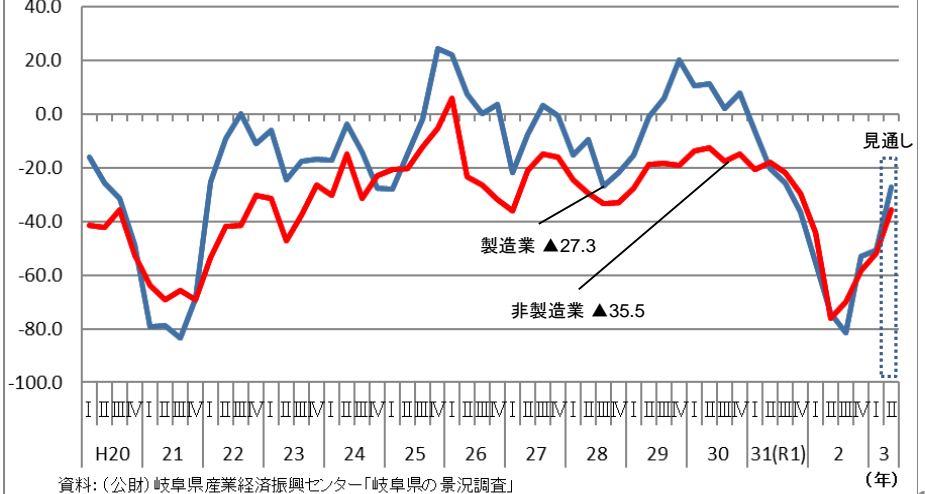
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」
全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



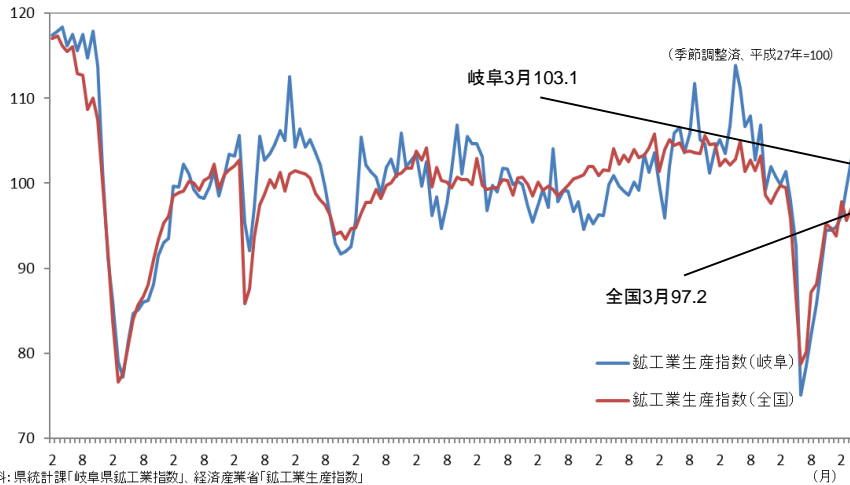
資料: (公財)岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

- 3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.1で前月比3.6%と上昇。
- 主な産業の前月比では、非鉄金属のみ低下し、多くの産業で上昇した。

- 3月の主な産業の指数は、非鉄金属で前月比▲0.7%と低下したものの、電気機械で同10.6%、輸送機械で同5.8%、はん用で同5.6%、鉄鋼業で同2.8%、プラスチック製品工業で同2.3%、金属製品で同2.1%、化学工業で同1.4%となり、多くの産業で上昇した。

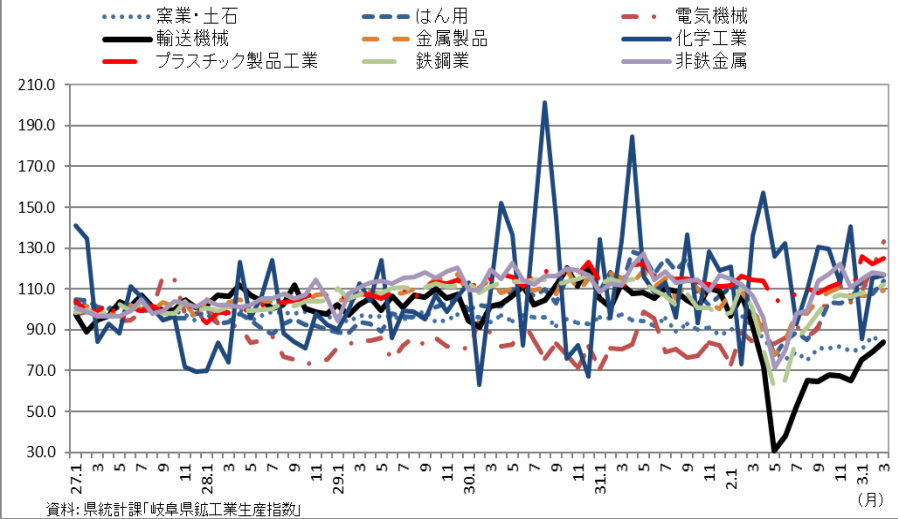
鉱工業生産指数の推移



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業生産指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済, 平成22年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業生産指数」

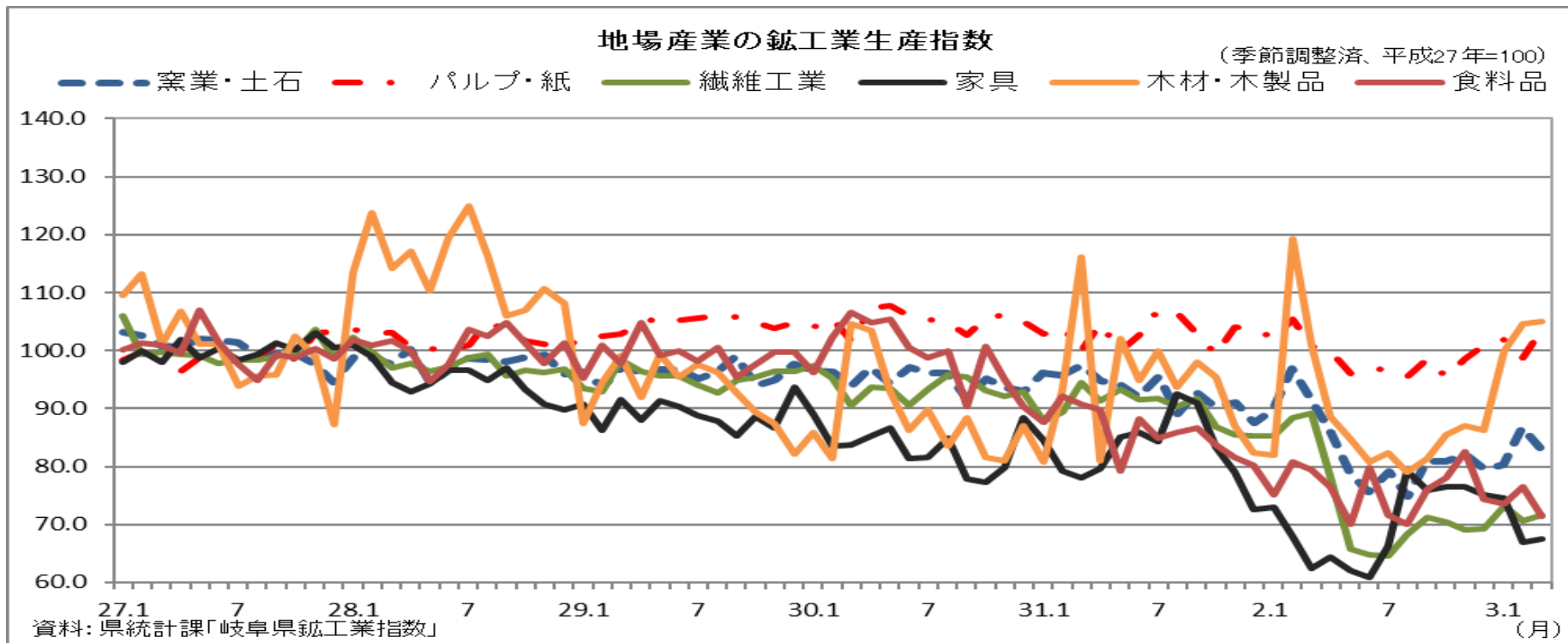
現場の動き

(※新型コロナウイルス、半導体関連はP6にも掲載)

- ◆ 足元は客先の在庫積み増しによる受注が旺盛。9月まではこの流れが続くようだがその後が不安。(輸送用機械)
- ◆ 中国の好調等に支えられて、5月の売上見込みは前々年との比較で10%程度増加している。(非鉄金属)
- ◆ 売上は前年と比較し▲30%程減少、利益は同▲50%程減少しているが、4月頃から明るい兆しが見えてきている。(生産用機械)
- ◆ 農機及び建設機械部品関係は世界的な需要増加が続いており、受注は好調に推移している。(生産用機械)
- ◆ 中国から旺盛な引き合いがあるのに加え、欧米や国内でも緩やかながら回復基調にある。(生産用機械)
- ◆ 新型コロナウイルスに加えミャンマー政変の影響により、ミャンマーとの往来が困難な状況が続いている。このため、現地で納入検収できていない案件が存在する。(生産用機械)

製造業-2

○3月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、食料品で前月比▲6.7%、窯業・土石で同▲4.4%と低下したものの、パルプ・紙で同4.9%、繊維工業で同1.3%、家具で同0.9%、木材・木製品で同0.4%と上昇した。

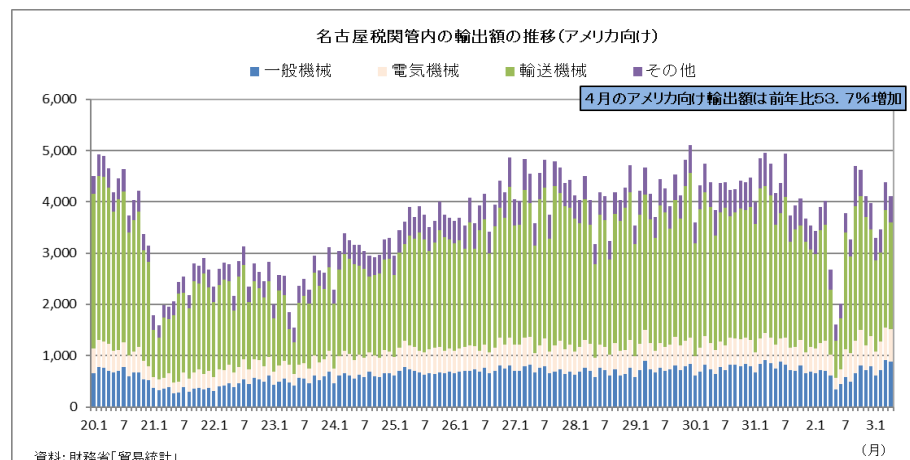
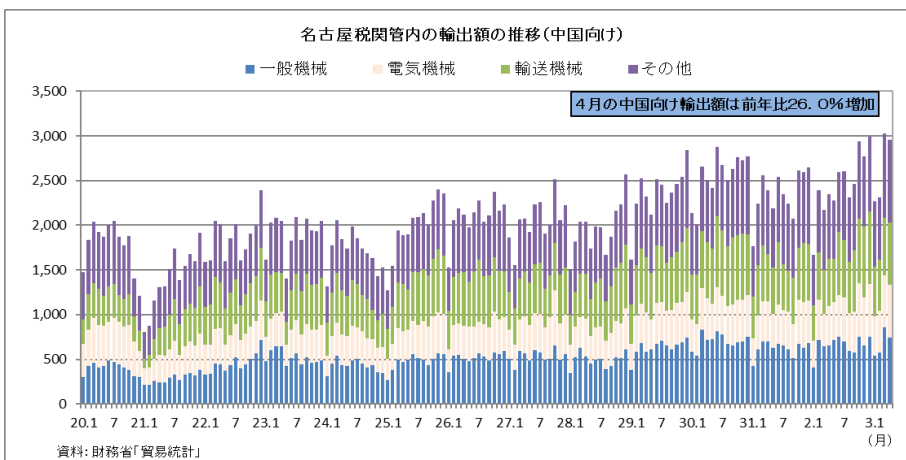
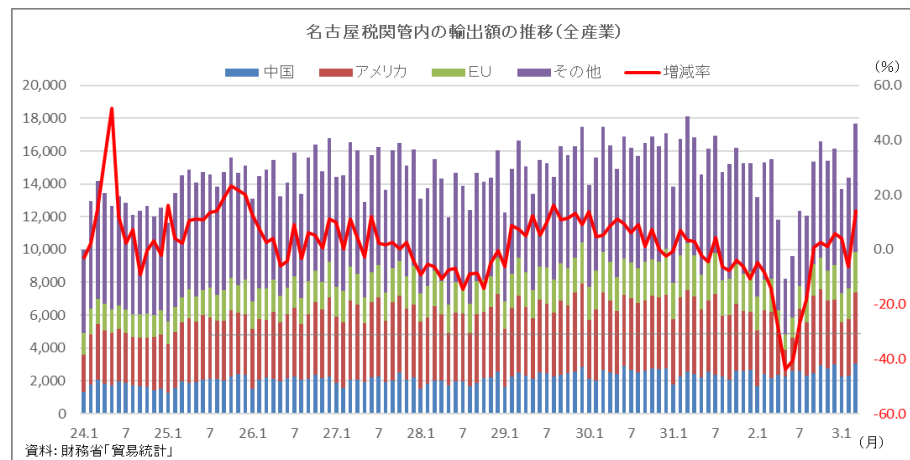
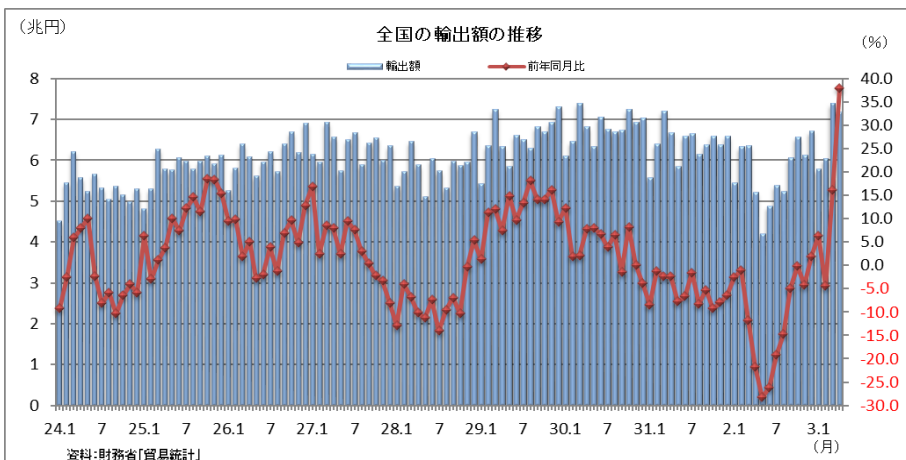


現場の動き (※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 納入先のスーパーや土産物屋、飲食店が売上を落としている。コスト削減のため取引を打ち切られることもあり、当社も非常に経営が厳しい。(食品)
- ◆ 法人向けの売上は増加傾向にある。(繊維)
- ◆ ウッドショックの影響を受け、パルプ等の原材料が急激に値上がりしている。(紙)
- ◆ 社内でSDGsを推進し、製品開発等に取り組んでいる。(紙)
- ◆ 売上は前年と比較し回復傾向にあるが、前々年比では▲60%減少している。(木工)

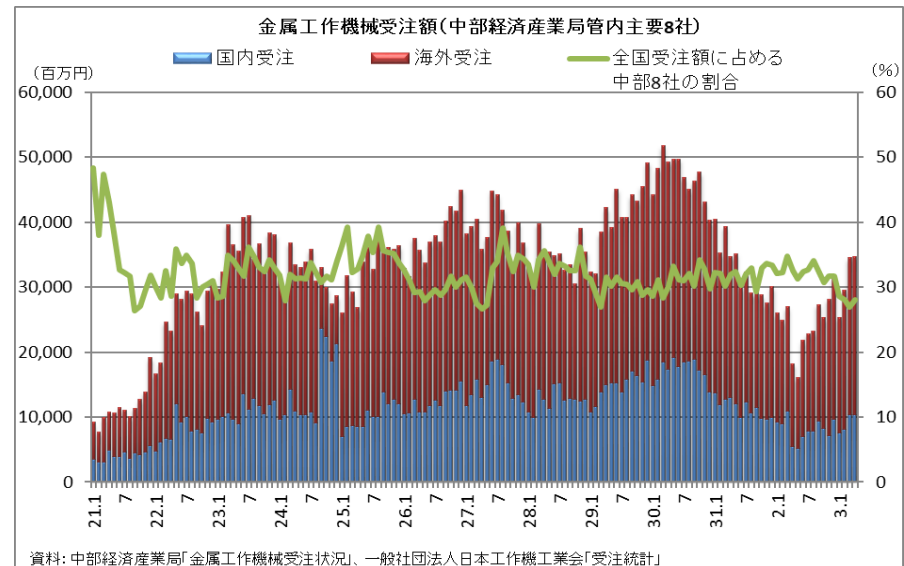
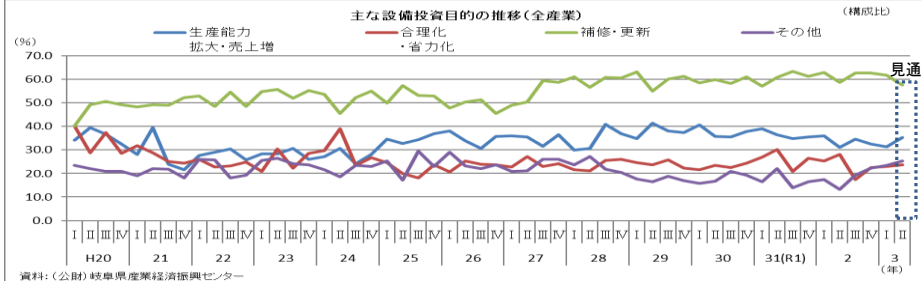
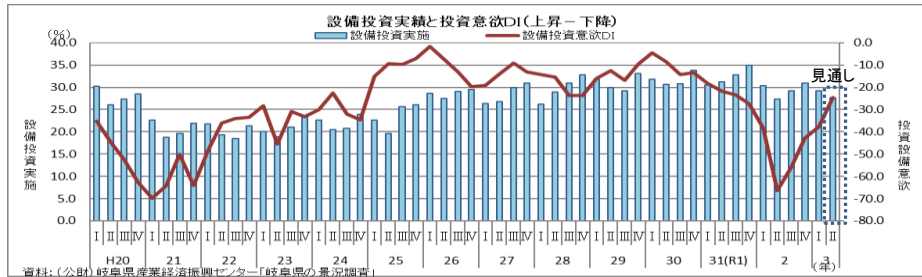
輸 出(名古屋税関管内)

- 4月の輸出額(全国)は、7兆1,805億円で前年同月比37.9%増加した。
- 4月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆7,094億円で前年同月比44.9%と増加し、2ヶ月連続で前年同月を上回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比26.0%増加した。その内、電気機械で同35.0%、輸送機械で同29.9%、一般機械で同13.5%増加した。
- アメリカ向けは、全体で前年同月比53.7%増加した。その内、輸送用機械で同64.7%、電気機械で同58.5%、輸送機械で同44.1%増加した。



設備投資

- 4-6月期の設備投資実施DI見通しは前期比▲1.5ポイント低下、設備投資意欲DI見通しは同13.1ポイント上昇。設備投資実施DI見通しの目的別では、「生産能力拡大・売上増」で前期比3.8ポイント、「合理化・省力化」で同0.7ポイント、「補修・更新」で、同▲4.1ポイント低下した。
- 4月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比90.7%増加と3ヶ月連続で前年を上回った。内訳は国内受注では同90.9%増加と29ヶ月ぶりに前年を上回り、海外向けは同90.5%増加と6ヶ月連続で前年を上回った。



現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 自動車製品製造ラインの機械を更新する予定。(輸送機械)
- ◆ 新規受注案件に対応するため、新しい機器の導入と敷地内への倉庫の建設を予定している。(非鉄金属)
- ◆ 老朽化した機械の更新を考えている。建物の更新や増設は予定していない。(生産用機械)
- ◆ 老朽化した設備の更新が中心だが、更新に際して自動化設備を取り入れ、生産性の向上も目指している。IT投資については、リモートワーク対応等のニーズが高まっていることから、インフラ整備やセキュリティ対策の導入を進めている。(生産用機械)
- ◆ 夏以降に東京に直営のショップを設ける予定。(繊維)

製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

- ◆ 5月は4月以上に好調で、対前年比で15～20%の増加となる見込みであり、急激に回復が進んできた。中国のみならず北米でワクチン接種が進んでいることが好影響をもたらしている。(輸送用機械)
- ◆ テレワーク関連の電子ペンやプリンターなどは引き続き需要があり、好調である。(電気機械)
- ◆ 巣ごもり需要を受け、来年や再来年の分の受注が入ってきた。(刃物)
- ◆ 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されてから受注の話が減った。(生産用機械)
- ◆ 新型コロナウイルスの影響により、売上が前年比で▲20～25%程減少している。(輸送用機械)
- ◆ 4月の売上は比較的好調であったが、5月は受注が急減した。インターネット販売や雑貨売り場の商品は堅調であるものの、レストランやホテル向けの食器が不調である。(陶器)
- ◆ まん延防止等重点措置により旅館やお土産屋が休業している。再開の目途が立たない状況にあり、お土産の売れ行きが落ち込んでいる。(食品)
- ◆ 5月の売上は対前々年比で▲50～60%減少している。(繊維)
- ◆ 事業所間や取引先との打ち合わせはWEB会議を主体としている。出張は、首都圏へは控えている。名古屋市、豊田市などへは公共交通機関を利用せず車での出張としている。(輸送用機械)
- ◆ 業界として、新型コロナウイルスの影響により中国から製品を輸入できない事態を経験したため、衣類の地産地消を推進するなど、サプライチェーンを見直す動きがある。(繊維)

半導体大手ルネサスエレクトロニクス的那珂工場で発生した火災の影響について

- ◆ 5月に入ってから部品の供給不足が生じ、数日間客先のラインが停止した。(輸送用機械)
- ◆ 徐々に大手自動車メーカー系列にも影響が出始めており、一部の工場稼働を4～5日止めて数万台の生産調整を行っている。(輸送用機械)
- ◆ 大手メーカーがこれから生産調整に入ると聞いており、当社もその影響を受ける可能性がある。(電気機械)
- ◆ 少しずつ影響が出てきており、現時点で数%程売上が減少している。(非鉄金属)
- ◆ 自動車部品関連は半導体不足による減産で受注が落ち込んでいる。(生産用機械)
- ◆ 半導体不足により大手自動車メーカーが生産調整を行うため、当社の生産量も減少する見込み。(プラスチック製品)

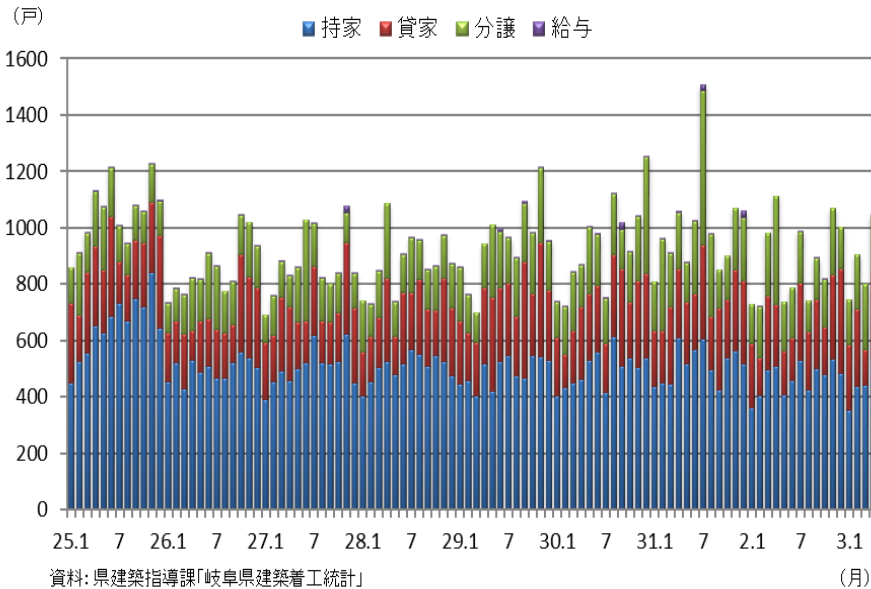
住宅・建築投資

○4月の住宅着工戸数は、前年同月比31.1%と増加した。

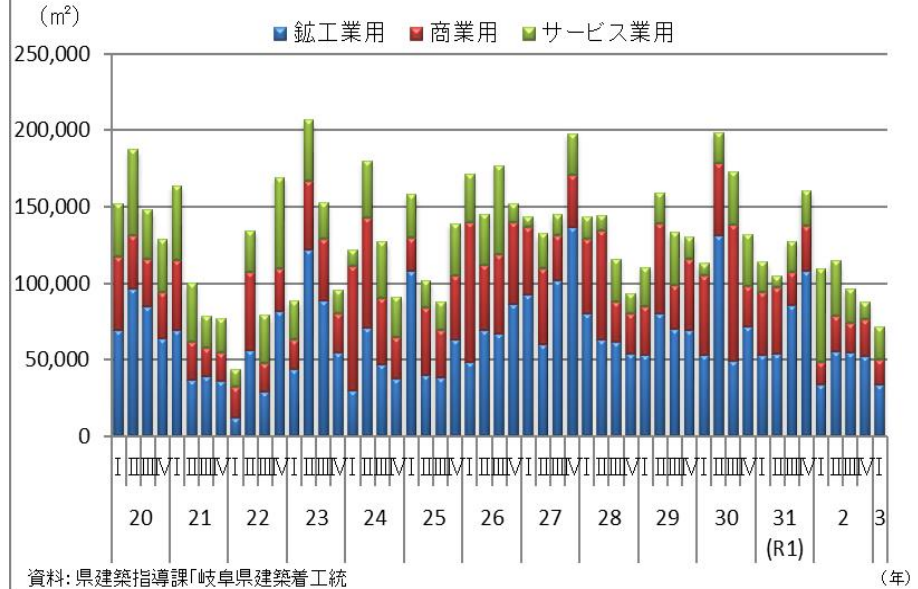
○貸家で前年同月比36.8%、持家で同6.3%増加、分譲で同▲47.3%減少した。

○1-3月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同月比17.1%と増加したものの、サービス業用で同▲65.7%、鉱工業用で同▲1.5%と減少し、全体として同▲35.0%と減少した。

新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



現場の動き

<ウッドショックの影響>

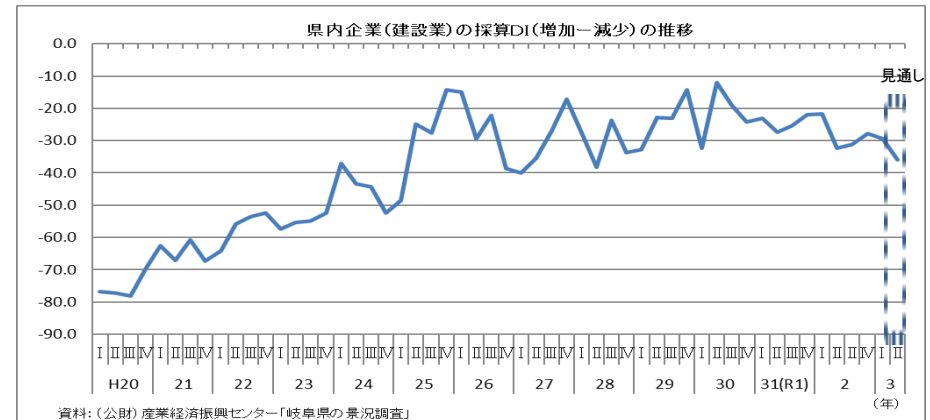
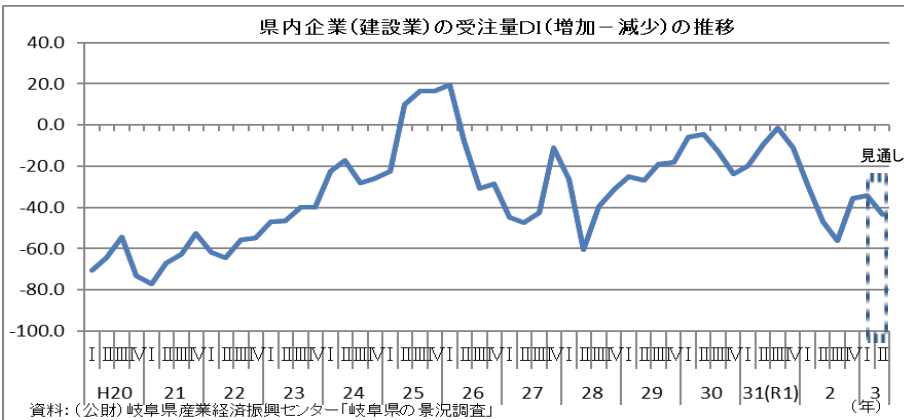
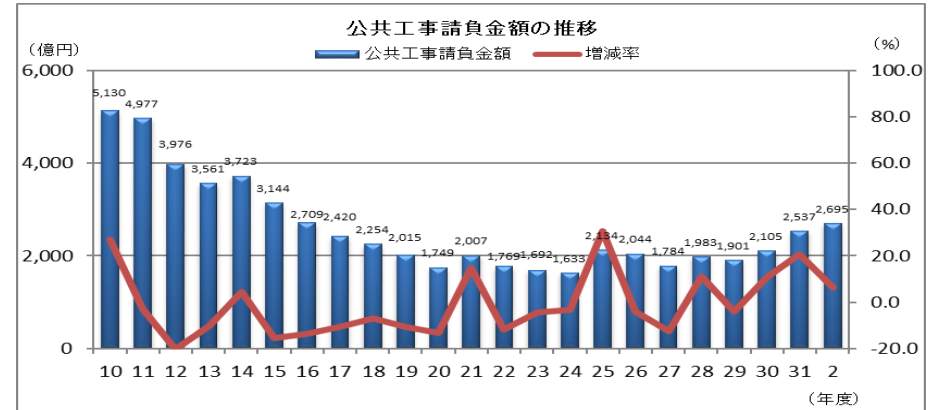
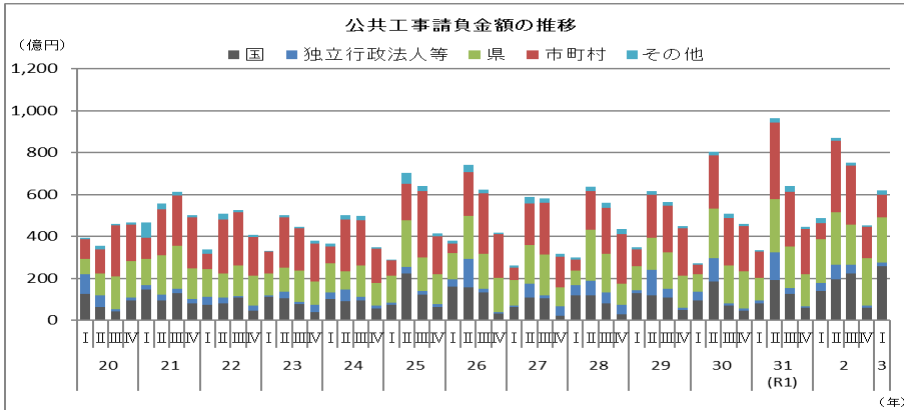
- ◆ 材料の取り合いとなっており、この状況がしばらく続く見通し。(組合)
- ◆ 材料が不足しているため、工場からの要求量を入荷できていない。(組合)
- ◆ 木材価格が急激に上昇し、工務店の負担が増加している。(木材加工)
- ◆ 木材価格の値上げ傾向が加速している。(木材加工)

<その他>

- ◆ 住宅展示場への来場予約は増加傾向にあり、住宅契約件数も前年同月の1.5倍と増加している。(工務店)

公共工事

- 1-3月期の発注者別の公共工事請負金額は、独立行政法人等で前年同期比▲62.3%と減少したものの、国で同87.5%、市町村で同37.5%と増加するなど、全体で同26.7%増加した。
- 県内建設業の4-6月期の受注量DI見通しは前期比▲9.3ポイント、同採算DIは同▲6.6ポイントと低下した。



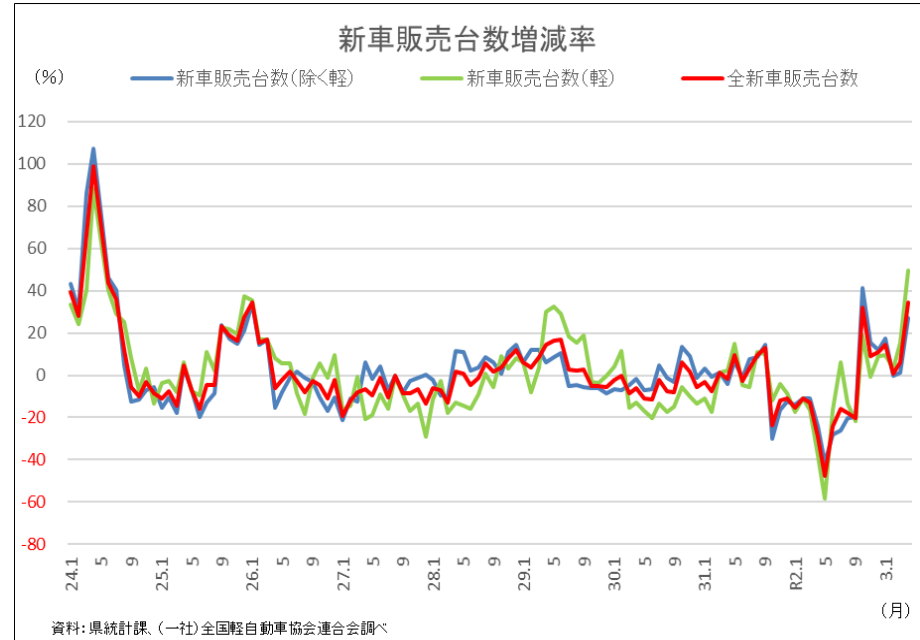
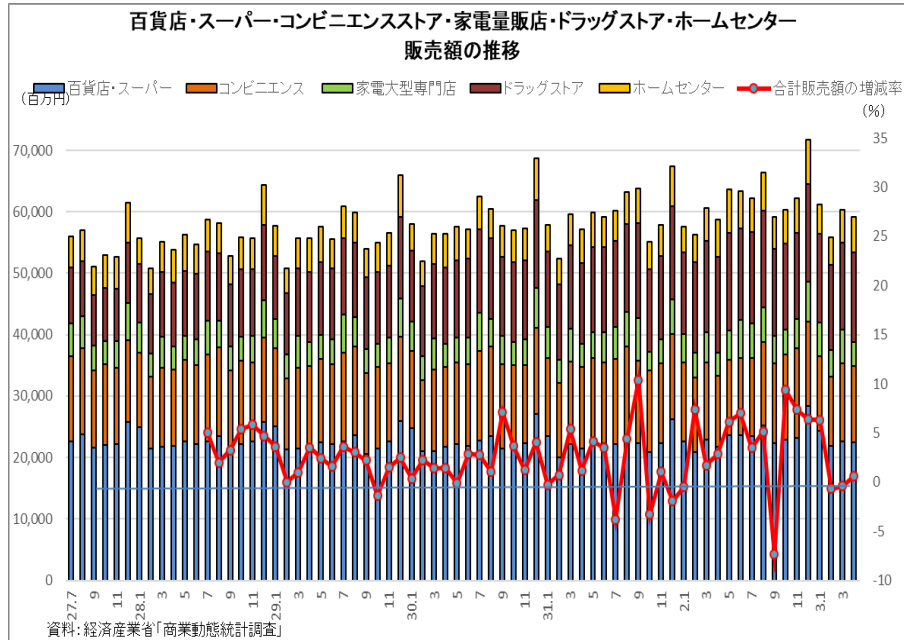
現場の動き

- ◆ 鉄筋、鋼管杭、生コンの価格上昇が著しい。ダンプの傭車単価も値上がり傾向にある。
- ◆ 慢性的な人手不足は今後も好転する材料はない。協力業者と早めの打ち合わせを行い、労働者を確保している。
- ◆ 三密を避ける必要から、発注者あるいは従業員間でのコミュニケーション不足が感じられる。今後の成果物や安全面での悪影響を懸念している。(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○4月は、ドラッグストアで前年同月比▲8.0%、ホームセンターで同▲4.7%と低下したものの、家電大型専門店と同7.3%、コンビニで同6.2%、百貨店・スーパーで同3.8%と増加し、全体では同0.7%と増加した。

○4月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比27.1%と2ヶ月連続で前年同月を上回った。軽自動車は同49.4%と5ヶ月連続で前年同月を上回った。合算では同34.3%と、7ヶ月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

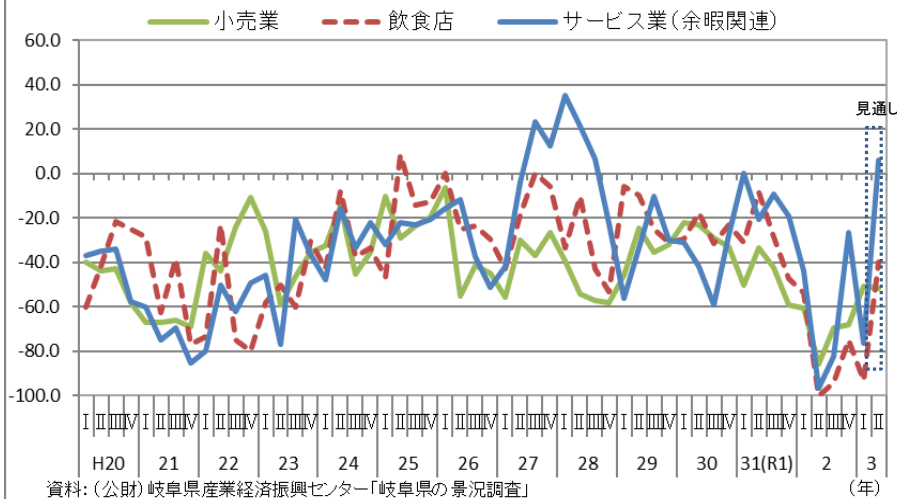
- ◆ 前年はマスクやアルコール、乾麺等の食料品のまとめ買いがあったが、今年はまん延防止等重点措置が発出されてもその傾向が見られなくなった。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大が2年目に入り、メーカーの供給が安定したため、マスク等の在庫を潤沢に保有できている。
- ◆ 今年は例年に比べ学生アルバイトの応募が多い。(以上、大垣市内大型商業施設)
- ◆ 前年は緊急事態宣言下にあったため、前年同月比では売上と客数は共に増加した。(大型スポーツ用品店)

個人消費(流通・小売)－2

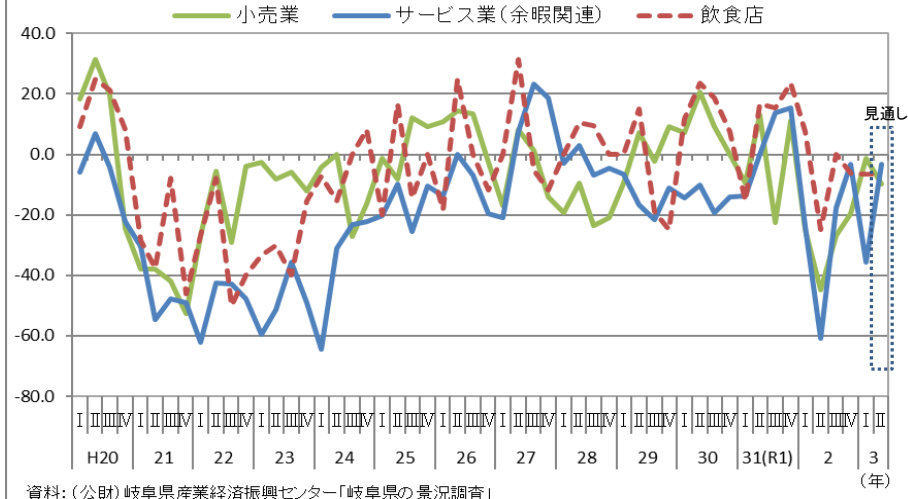
○4－6月期の売上高DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比82.4ポイント、飲食店で同53.3ポイントと上昇し、小売業で同▲1.1ポイントと低下した。

○同じく販売価格DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比32.3ポイントと上昇、飲食店で前期比横ばい、小売業で同▲8.7ポイントと低下した。

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移



県内企業の製品販売価格DI(上昇－下降)の推移



現場の動き

- ◆ まん延防止等重点措置の発出を受け、商店街イベントの多くを中止した。飲食店では、まん延防止等重点措置の影響はあるものの、前年同月比では30%程売上が増加。着物販売店では、結婚式や成人式などのイベントの中止や規模縮小の影響を受けて売上が大きく落ち込んでいる。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 日用・雑貨店では、前年にあったマスク・消毒液の需要が減少し、前年同月比で▲30%程売上が落ちこんだ。和菓子店では、まん延防止等重点措置の発出以降、売上が前年を下回る日が続いている。(以上、大垣市商店街)
- ◆ 酒店では、前年同月比では売上は20%程増加したものの、飲食店は酒類の提供を自粛しているため、コロナ禍前の売上には程遠い状況にある。時計・宝石店では、高額商品が売れない状況が続いている中、まん延防止等重点措置が発出され、来店者はますます減少した。(以上、多治見市商店街)

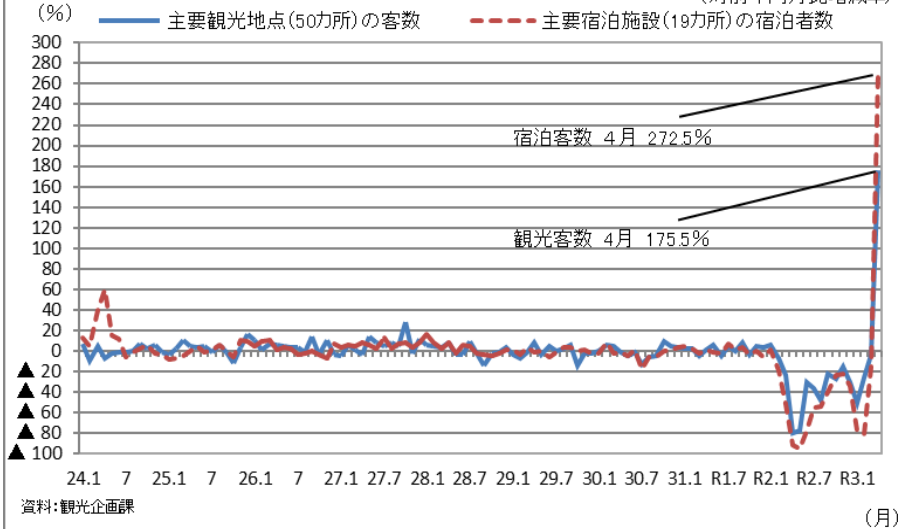
観光

○主要観光地における4月の観光客数は、前年同月比175.5%と増加したが、コロナ前の前々年同月比では▲44.2%となっている。主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同月比272.5%と増加したが、前々年同月比では▲68.5%となっている。

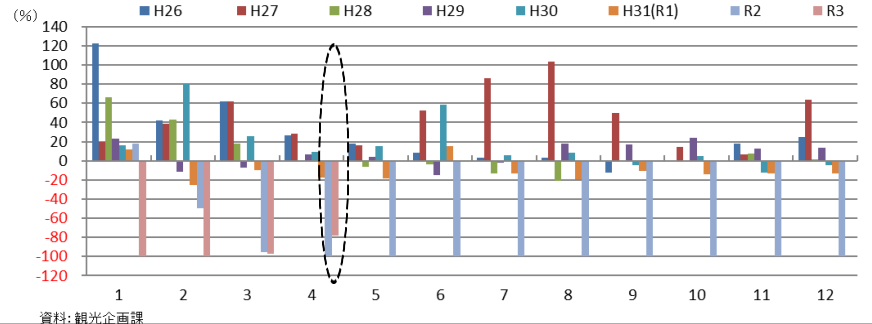
○4月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比の増減率では▲77.8%と15ヶ月連続で前年同月を下回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

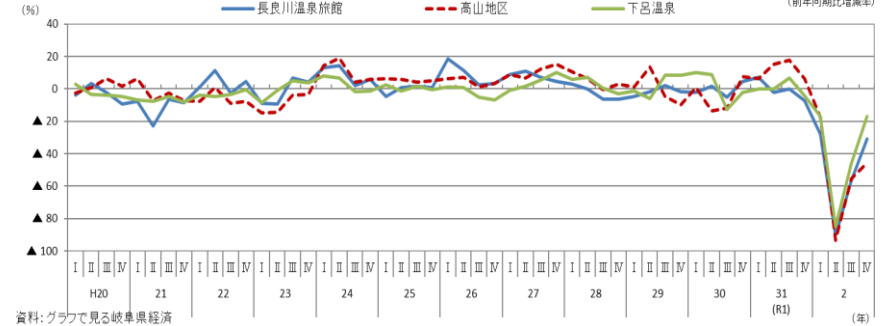
(対前年同月増減率)



主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

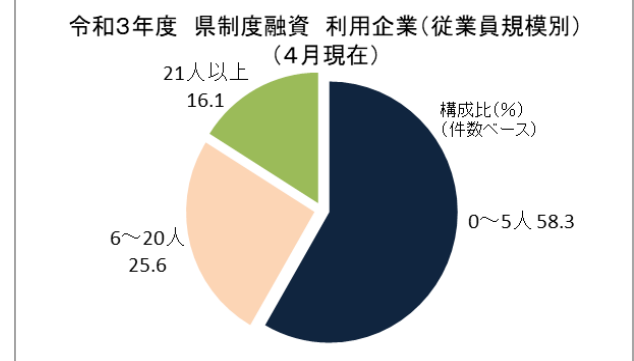
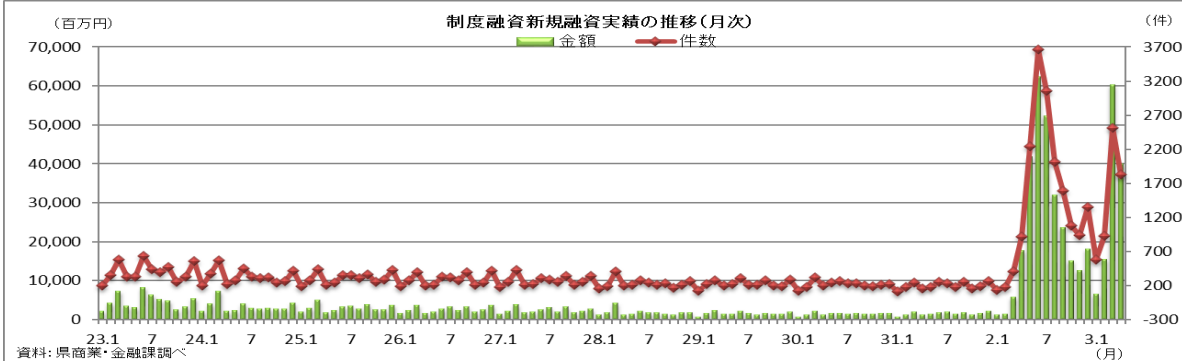
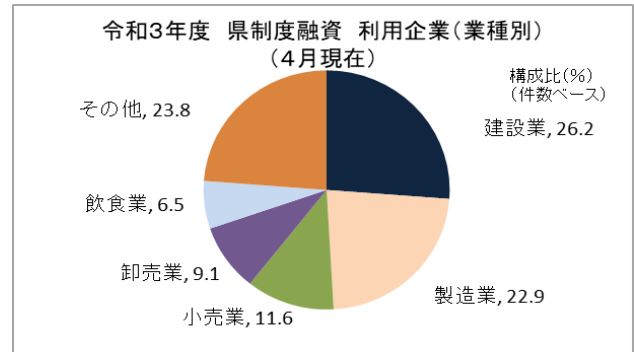
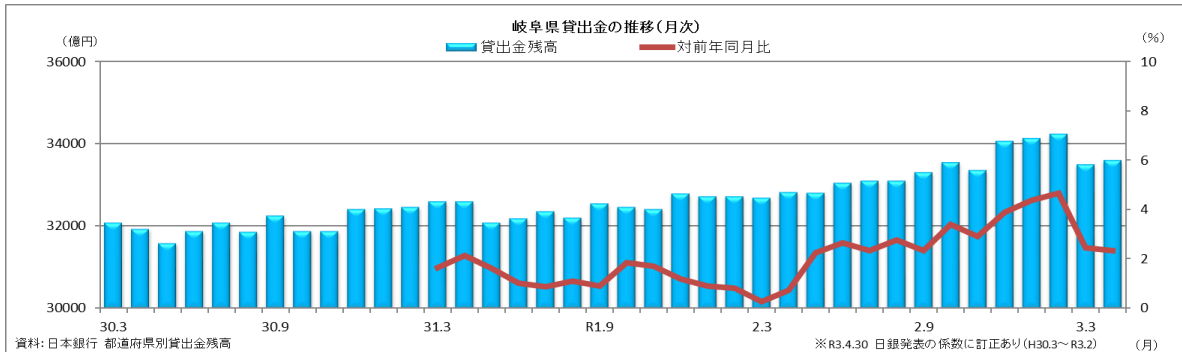


現場の動き

- ◆ コロナ前の前々年と比較して宿泊客数は▲70~80%程減少している。(多治見、飛騨市内の宿泊施設)
- ◆ 前々年と比較して売上が▲80%程減少している。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ 5、6月は平日に休館日を設定している。(大垣、郡上、恵那市内の宿泊施設)
- ◆ 今後もこの状況が続けば休館日の設定も検討せざるを得ない。(下呂市内の宿泊施設)
- ◆ 雇用調整助成金の特例措置が終われば、リストラをしなければならない可能性が高い。(飛騨市内の宿泊施設)
- ◆ 団体利用の予約はほとんどなく、出張等のビジネス利用が大部分を占めている。(多治見市内の宿泊施設)

資金繰り

- 4月の岐阜県貸出金残高は、3兆3,602億円で前年同月比2.3%とプラス基調が続く。
- 4月の制度融資実績は、金額が40,111百万円で前年同月比123.8%と増加した。件数は1,829件で同100.8%と増加した。
- 従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の58.3%を占めている。

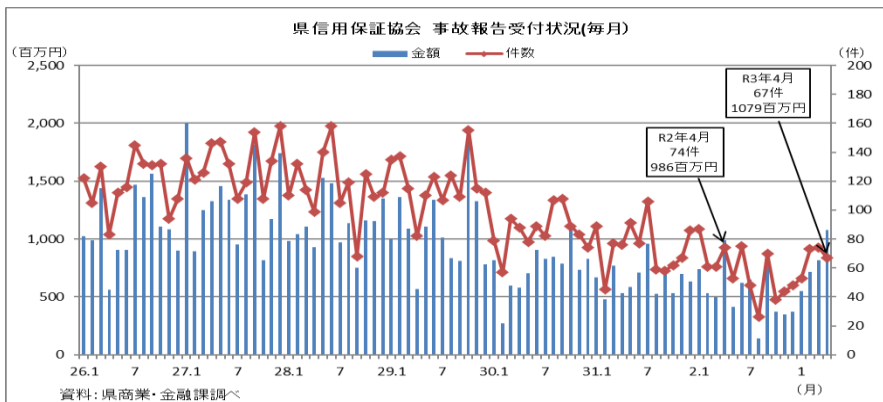
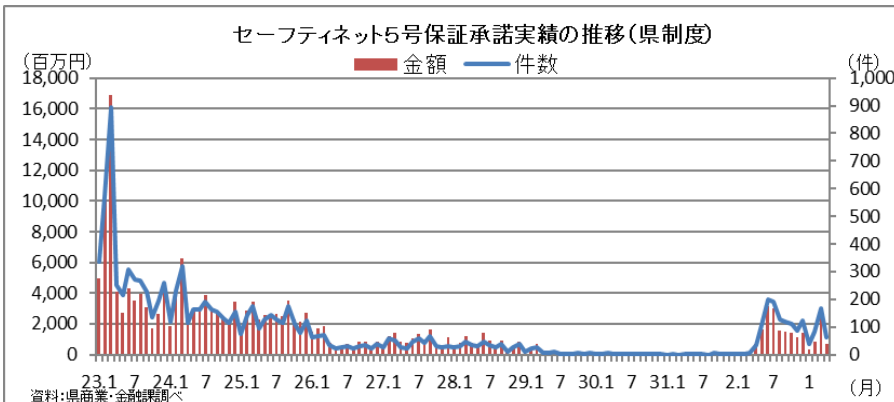
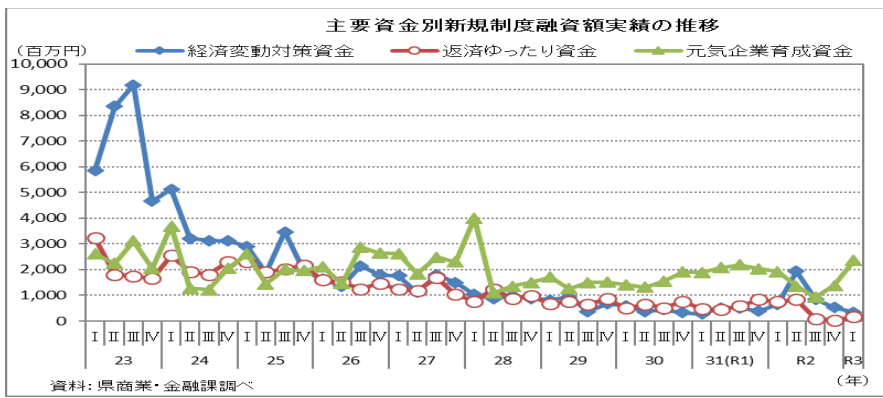
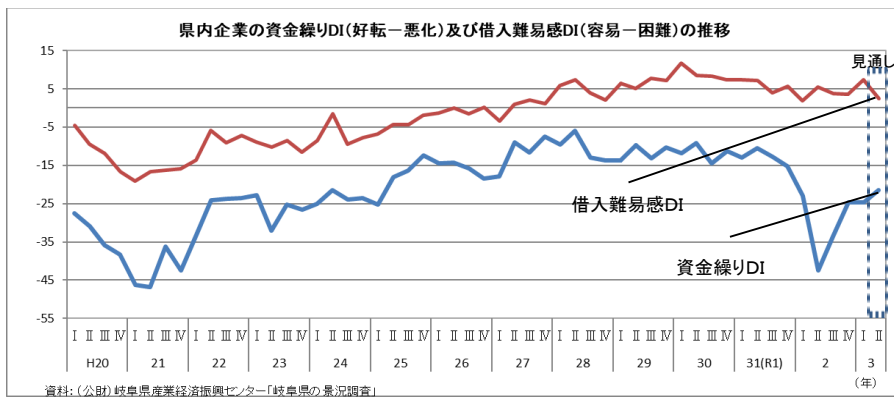


現場の動き

- ◆ 本年4月に創設された新型コロナ経営改善資金は低調。無利子融資と比較しインパクトが弱いことや、無利子融資で資金調達した企業はまだ手元資金に余裕があることが要因。
- ◆ 介護、流通、特殊技術のある製造業は回復しているが、飲食やその周辺業界、美容院等は非常に厳しい状況。
- ◆ 国の事業再構築補助金を活用して、新しい業態にチャレンジする事業者が少しずつ出てきた。設備投資については、同補助金を活用する事案がほとんどである。
- ◆ 新型コロナウイルスの影響で、業種や企業規模を問わず倒産する企業が出始めている。(以上、金融)

資金繰り-2

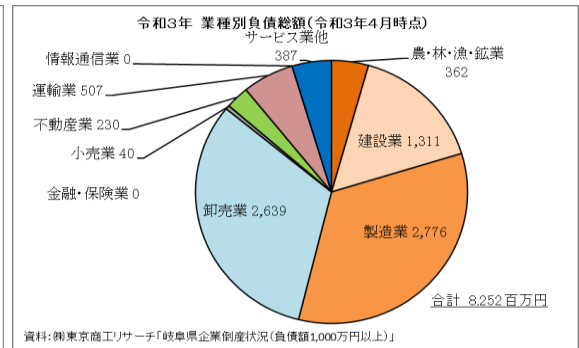
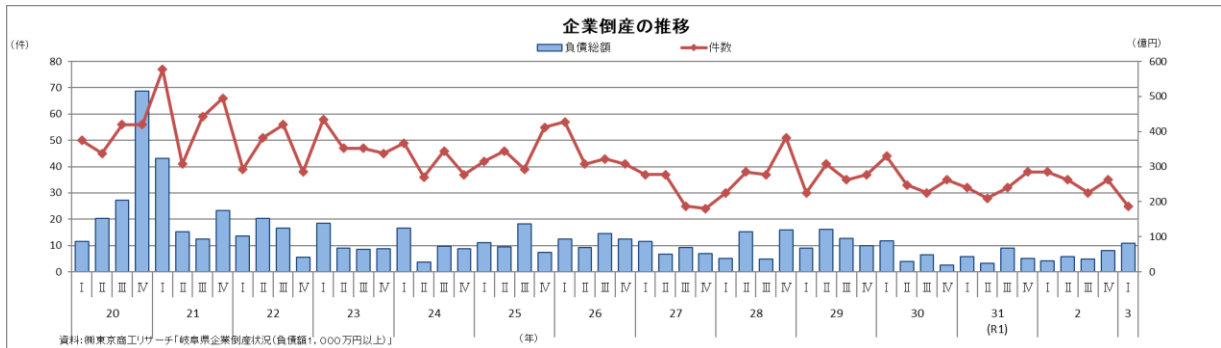
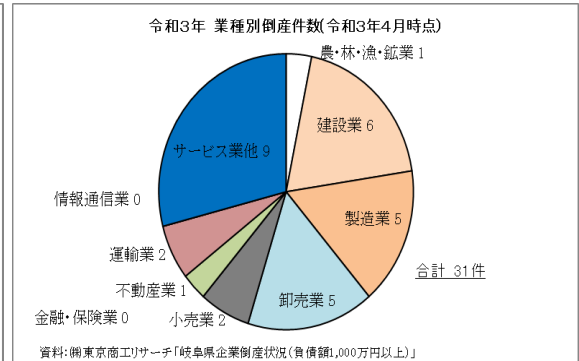
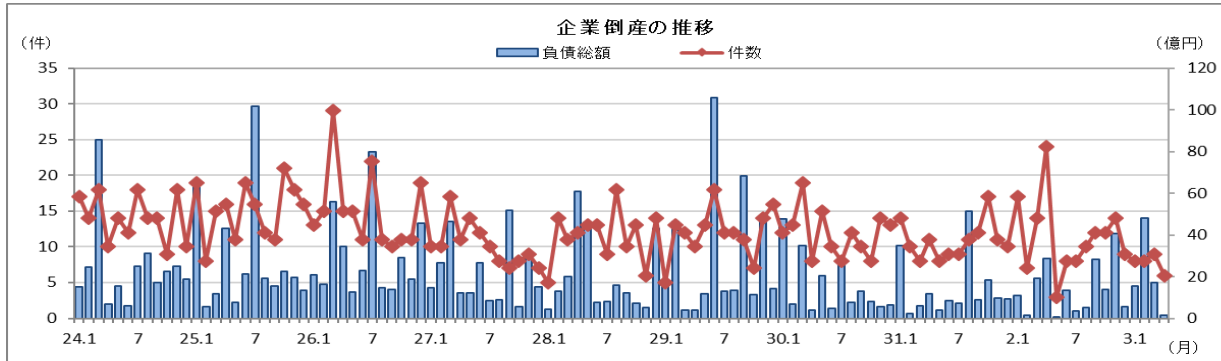
- 4-6月の資金繰りDI見通しは▲21.4で、前期比3.2ポイント上昇。同借入難易感DI見通しは2.5で、同▲4.8ポイント低下した。
- 1-3月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比▲46.3%と8期ぶりに減少、返済ゆったり資金で同▲78.4%と3期連続で減少、元気企業育成資金は同23.2%と4期ぶりに増加となった。
- 4月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が63件で前年同月比30件増加、金額は663百万円で同▲13百万円減少した。
- 4月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は67件で前年同月比▲9.5%減少し、金額は1,079百万円で同9.4%増加した。



倒産

○4月単月の倒産件数は前月比▲3件減少の6件、負債総額は前月比▲1,556百万円減少の160百万円となった。

○1月から4月までの累計倒産件数は31件となり、前年同期の62件から31件減少。累計負債総額は8,252百万円となり、前年同期の6,030百万円から2,222百万円増加で推移した。



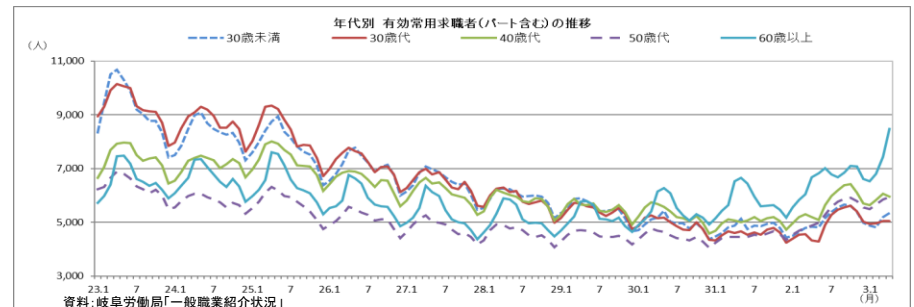
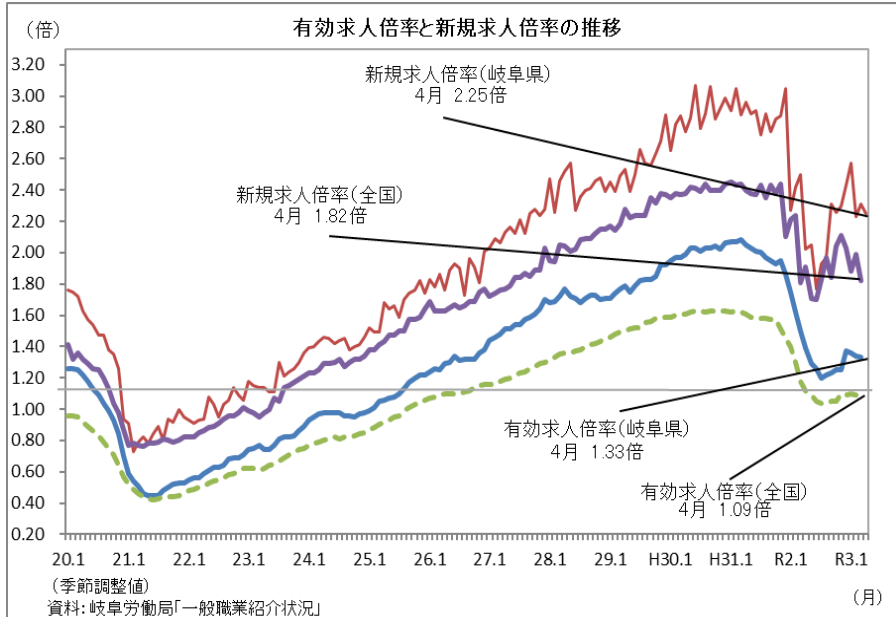
専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆ 緊急事態宣言は対象地域に北海道、岡山県、広島県、沖縄県が追加され、全国で10都道府県に拡大した。「まん延防止等重点措置」適用地域8県を含め、飲食店の酒類提供の制限、飲食店や商業施設などの時短営業や休業が広がり、消費関連企業への影響が懸念される。
- ◆ 金融支援策の効果で中小企業の資金繰りは改善し、本業外で得る雇用調整助成金などで赤字も抑えられ、倒産件数は低水準が常態化しつつある。しかし、新型コロナウイルスの感染動向を見るに楽観はできない状況で、事態の長期化による過剰債務問題等で、息切れにより倒産が増加する可能性は高まっている。

雇用

- 4月の有効求人倍率は1.33倍と、前月比▲0.01ポイントと3ヶ月連続で低下した。
- ▲0.01ポイントと3ヶ月連続で低下した。
- 4月の新規求人倍率は、2.25倍と同▲0.06ポイント低下した。

- 4月の雇用保険受給者人員は、前月比▲3.6%と減少した。
- 有効常用求職者は、全ての年代において10ヶ月連続で前年同月比増加した。



現場の動き

- ◆ 4月にベースアップを実施した。(輸送用機械)
- ◆ 人材に余剰感があるが、部署間で調整している。(輸送用機械)
- ◆ 受注が好調で生産が間に合わないので休日出勤、残業を可能な限り増やしている。(輸送用機械)
- ◆ 外国人技能実習生の受け入れを増やし、後々特定技能の資格を取得することで労働力を確保・維持していく方針。(生産用機械)
- ◆ ワクチン接種のための休暇制度を設ける予定。(はん用機械)
- ◆ 令和4年4月の採用を大幅に増やすとともに、岐阜県プロフェッショナル人材と岐阜県労働力シェアリングの活用を予定している。(非鉄金属)
- ◆ 工場の稼働率は回復基調にあるが、人手の余剰感は続いている。(生産用機械)

雇 用(職業別)

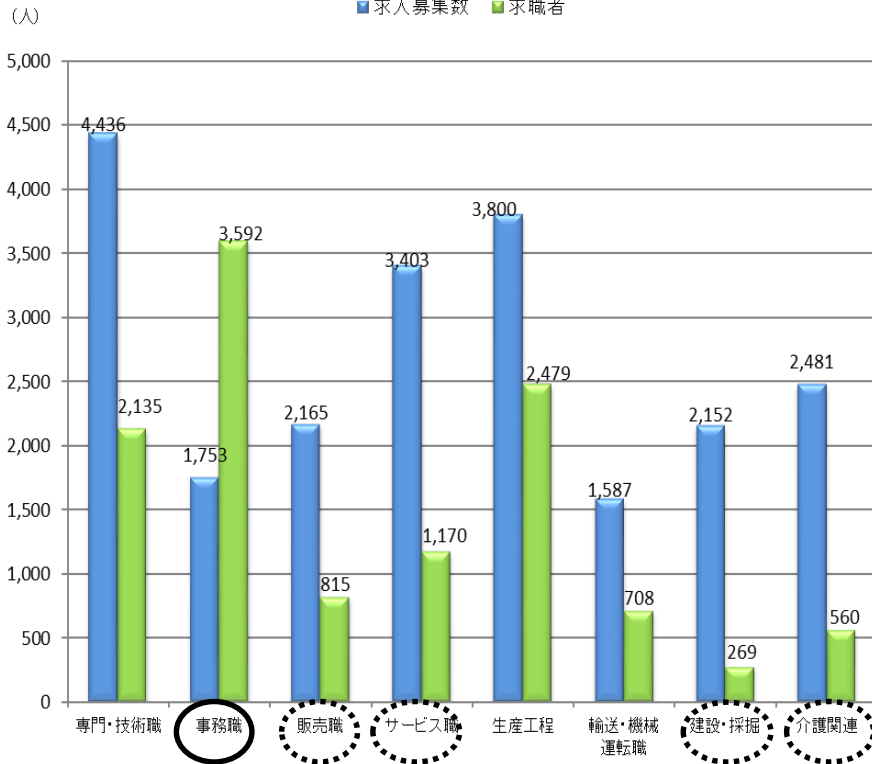
○有効求人倍率は、建設・採掘で8.00倍、介護関連で4.43倍、サービス職で2.91倍、販売職で2.66倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.49倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○4月の主要産業別の新規求人数は、電気機械で前年同月比159.6%、輸送用機械で同116.7%、金属製品で同84.0%、窯業・土石製品で同50.9%、はん用機械で同47.1%、プラスチック製品で同39.6%、生産用機械で同21.3%、繊維工業で同3.1%、食料品製造で同1.0%と増加した。

4月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(通常のフルタイム)

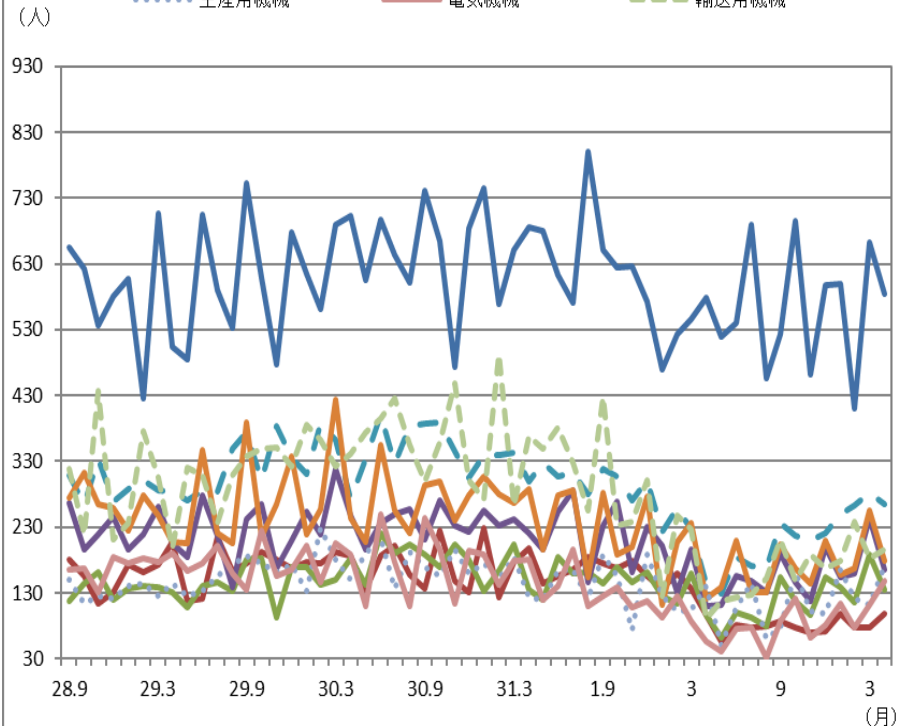
■ 求人募集数 ■ 求職者



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

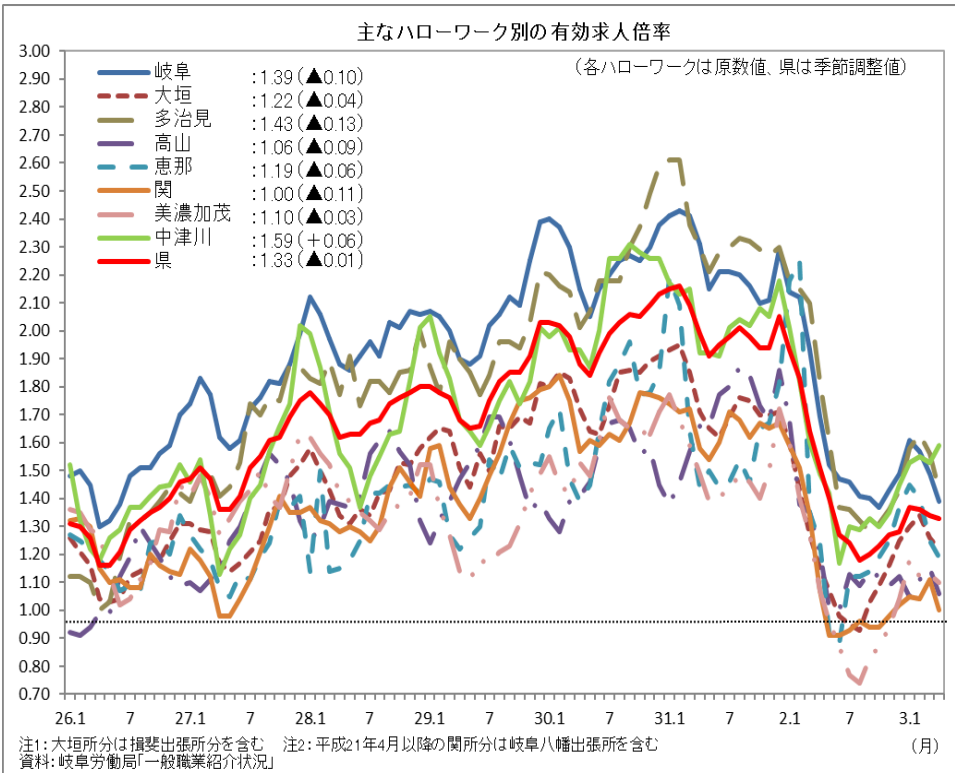
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移

— 食料品製造 — 繊維工業 — プラスチック製品
 — 窯業・土石製品 — 金属製品 — はん用機械
 生産用機械 — 電気機械 — 輸送用機械



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇用(地域別)



○4月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、中津川を除き、低下した。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数、求職者数はともにやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数、求職者数はともに横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数、求職者数はともに減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子> ※前月比

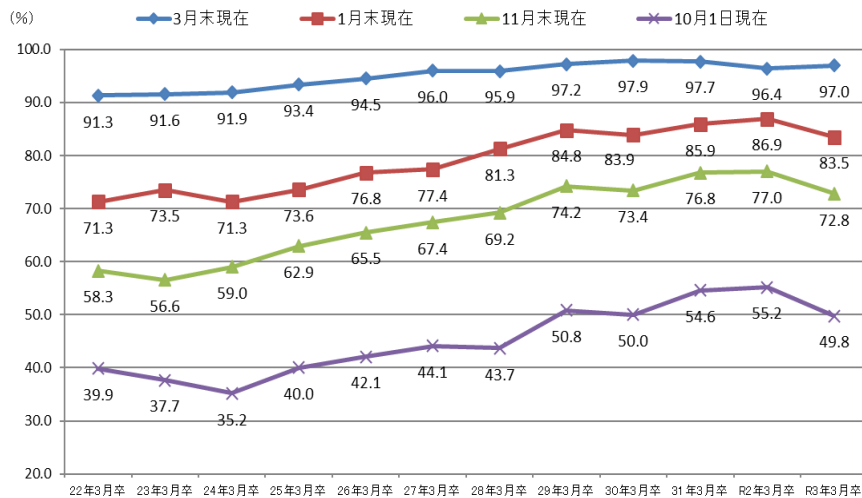
- ◆関以外で、横ばいまたは混雑傾向にある。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和3年3月末時点の大学・短大卒業者(令和3年3月卒業)の就職内定率は、97.0%であり、前年同時点と比べ0.6ポイントと上昇した。

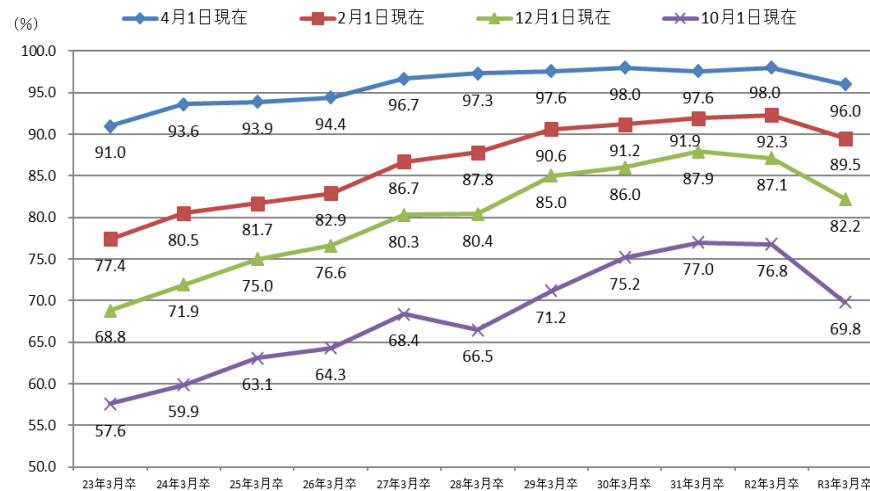
○全国の令和3年4月1日現在の大学卒業者(令和3年3月卒業)内定率は96.0%であり、前年同時点と比べ▲2.0ポイントと低下した。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料: 厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2022卒の動きなど)

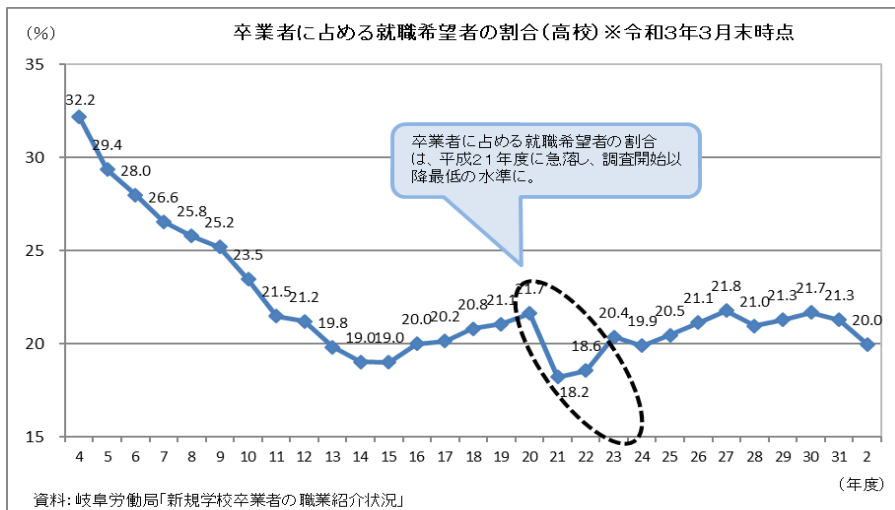
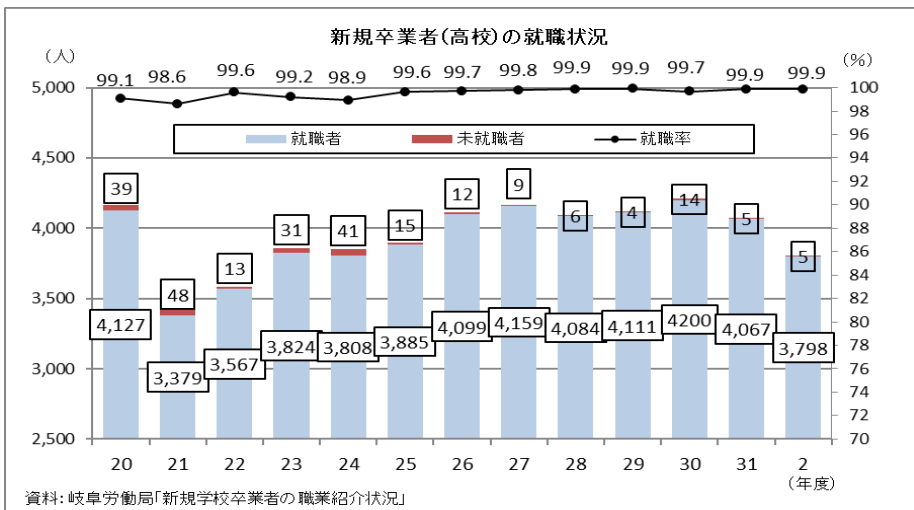
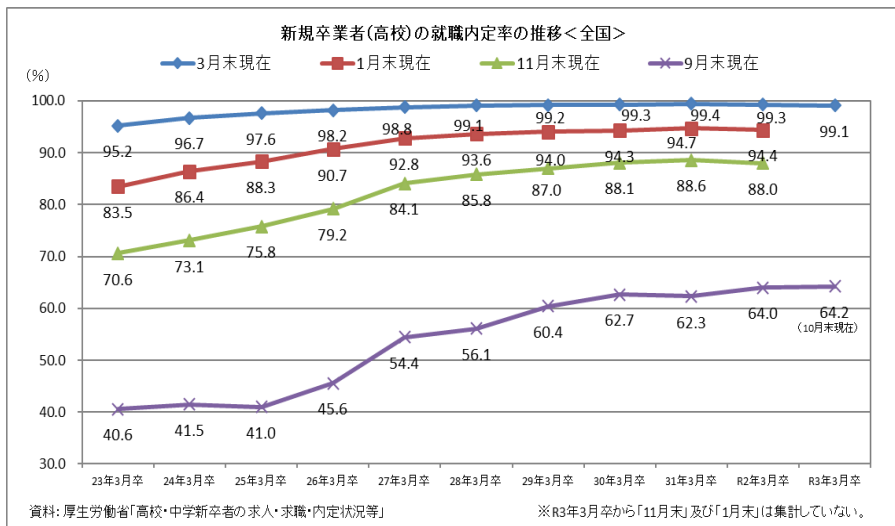
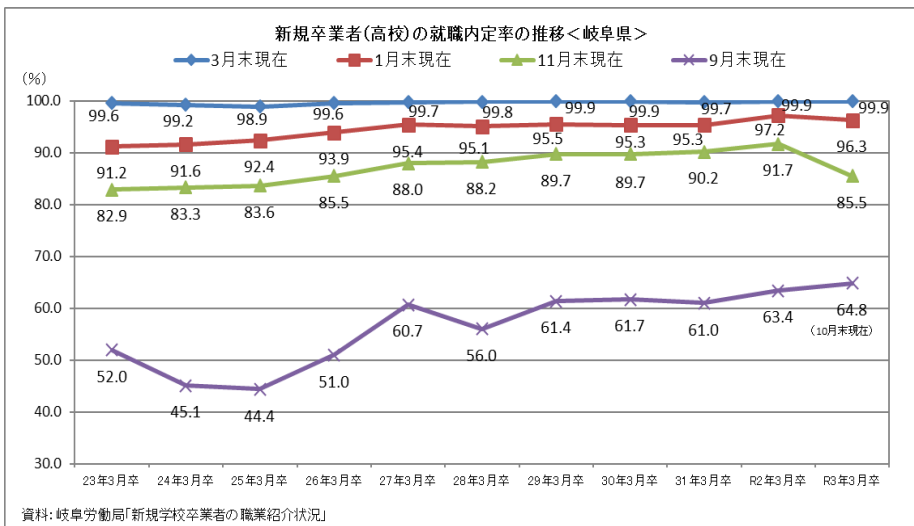
<大学へのヒアリング>

- ◆ 企業からの求人は21卒に比べて22卒は微減している。
- ◆ 22卒の内々定率は40%程と前々年と同程度の水準。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大のため、学生からの相談はオンラインを中心としているが、相談件数がかなり減っている。(以上、岐阜県内大学)
- ◆ 学生からの相談は5月に入り減少した。就職活動への取組み姿勢は、学生の間で二極化している。
- ◆ 内定取消の話は聞かれない。(以上、愛知県内大学)

雇用(高校新卒者の就職)

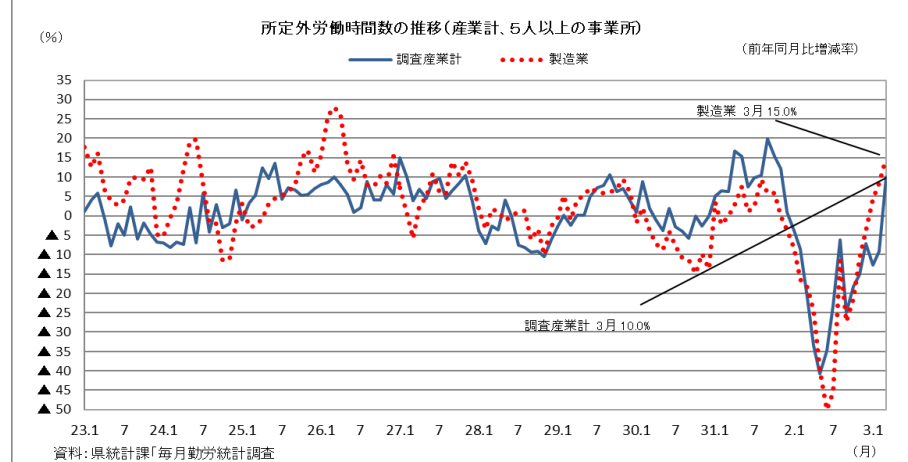
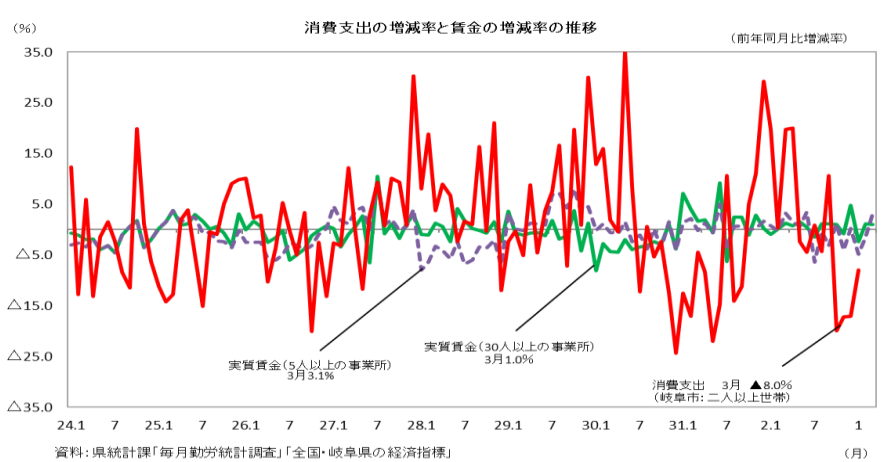
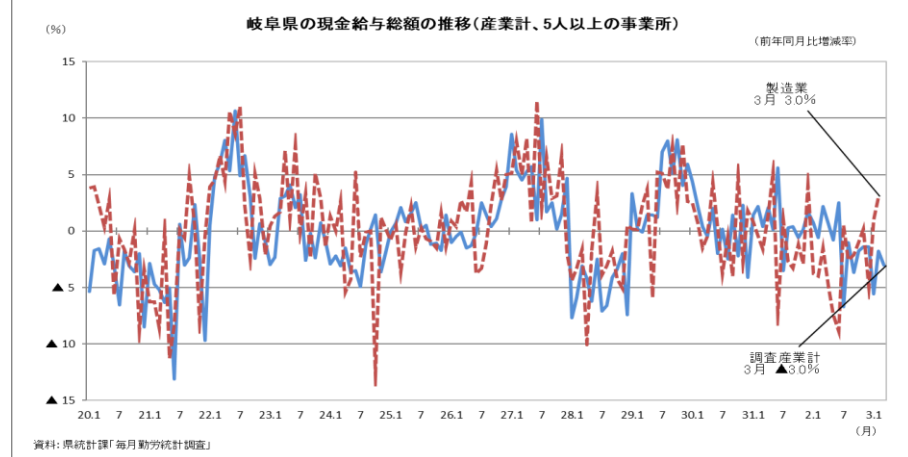
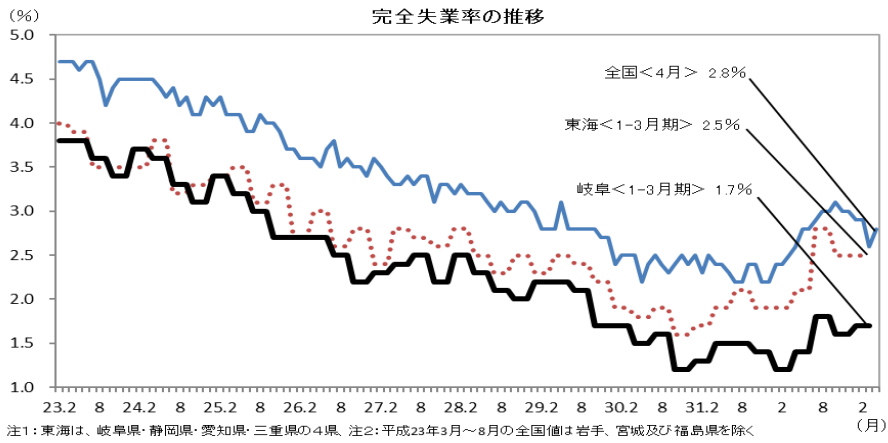
○岐阜県の令和3年3月末時点の高校卒業者(令和3年3月卒業)就職内定率は99.9%であり、前年同時期と同水準となった。

○全国の令和3年3月末時点の高校卒業者(令和3年3月卒業)就職内定率は99.1%であり、前年同時期と比べて▲0.2ポイント低下した。



雇 用(完全失業率等)

- 全国の4月の完全失業率は2.8%で前月比0.2ポイントと上昇。岐阜県の1-3月期の平均は1.7%で前期比0.1ポイントと上昇。
- 3月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲3.0%と減少、製造業で同3.0%と増加。
- 3月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所は前年同月比1.0%、5人以上の事業所は同3.1%と増加。3月の消費支出については同▲8.0%と減少した。
- 3月の所定外労働時間数は前年同月比10.0%増加し、15ヶ月ぶりに増加に転じた。



＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、3月の鉱工業生産指数が前月比3.6%と上昇。ヒアリングでは、中国の旺盛な需要やワクチン接種が進む欧米、さらには国内においても緩やかな回復が見られるとの声がある一方、まん延防止等重点措置による取引先への影響や半導体不足による先行きを不安視する声も多かった。
- 地場産業は、3月の鉱工業生産指数が、食料品と窯業・土石で低下したものの、パルプ・紙、繊維工業、家具、木材・木製品で上昇した。ヒアリングでは回復傾向にあるとの企業の声も見受けられるものの、まん延防止等重点措置による取引先の売上減少により、苦しい経営状況となっているとの声があった。
- 設備投資は、4月の金属工作機械受注額は、国内、海外向けともに前年を上回った。特に国内向けが前年を上回ったのは29ヶ月ぶり。ヒアリングでは、新規受注への対応や生産性の向上を目的とした前向きな設備投資の動きが見られた。
- 個人消費は、ドラッグストアで前年同月比▲8.0%、ホームセンターで同▲4.7%と低下したものの、家電大型専門店と同7.3%、コンビニで同6.2%、百貨店・スーパーで同3.8%と増加し、全体では同0.7%の増加となった。ヒアリングでは、まん延防止等重点措置により売上が落ち込んだとの声が聞かれるなど、新型コロナウイルスの感染状況の影響を受けやすい状況。
- 観光は、4月の客数は観光地、宿泊客数ともに緊急事態宣言下にあった前年と比べては好転したものの、コロナ前の前々年月比では引き続き大きく下回っている。ヒアリングにおいては、今後も感染拡大の状況が続けば休館日の設定も検討せざるを得ない、など厳しい声が多くあった。
- 企業の資金繰りは、4月の制度融資実績は、引き続き、件数、金額ともに前年同月比で大きく増加したが、3月までに申し込んだ実質無利子無担保の制度融資で資金調達した企業が多く、新たな制度融資は低調。
- 雇用面は、4月の有効求人倍率が1.33倍と3ヶ月連続で減少した。ヒアリングでは製造業においては雇用は回復傾向にあることが見受けられるものの、観光業では依然として厳しい状況にあり、雇用調整助成金の特例措置終了後が危惧される、との声が聞かれた。